

新図書館建設へ向けて！

みんなで考える『私たちの新しい図書館』

第3回ワークショップ開催！

設計者とともに！

平成32年度の開館を目指し、新図書館建設事業を進めています。昨年は新図書館住民ワークショップの第1回と第2回を行いました。今年、第3回を9月17日(月)に開催し、中学生から90代まで59人の参加がありました。

最初に公募型プロポーザル方式で最優秀賞に選定された株式会社徳岡設計を紹介しました。

設計者は、『利用者の思い思いの「くしたい」ができる、「来たい」と思う図書館づくり』を実現するため、参加しています。



設計者による説明



建設予定地での説明

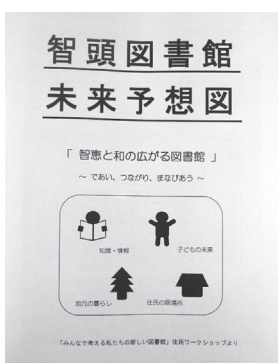
今回のワークショップでは、これまで2回のワークショップの中で、住民の皆さんがそれぞれ思い描かれた、図書館で生まれるであろうストーリーをもとに、設計者から新図書館のプロポーザル案が提案されました。

その後、参加者は建設予定地を歩き、各スペースの配置やそこから見える景色について、設計者から説明を受けました。

「智頭図書館未来

予想図」をもとに

これまでのワークショップで多くのストーリーが発表され、その中の20のストーリーをまとめた小冊子「智頭図書館未来予想図」を、参加者の村岡さん姉妹のイラストや智頭中学生の協力によって作製しました。



小冊子「智頭図書館未来予想図」

ワークショップでは、「未来予想図」をもとに設計案が「図書館のありたい姿」が実現できるものとなっているか、6つのグループに分かれて、気づきや意見を出し合っ

てまとめ、発表しました。10月8日(月・祝)の第4回ワークショップでは修正案が示され、63人の参加者が熱行いました。

第5回ワークショップのお知らせ

【第5回】12月2日(日)

詳細は別途お知らせしますが、問合せ・申込みは智頭図書館にお願いします。



全体発表のようす



グループごとの意見交換

問合せ先 智頭図書館 ☎ 75-4123

# 平成29年度

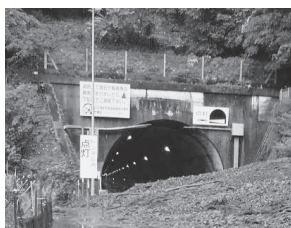
# 智頭町の決算

(普通会計)

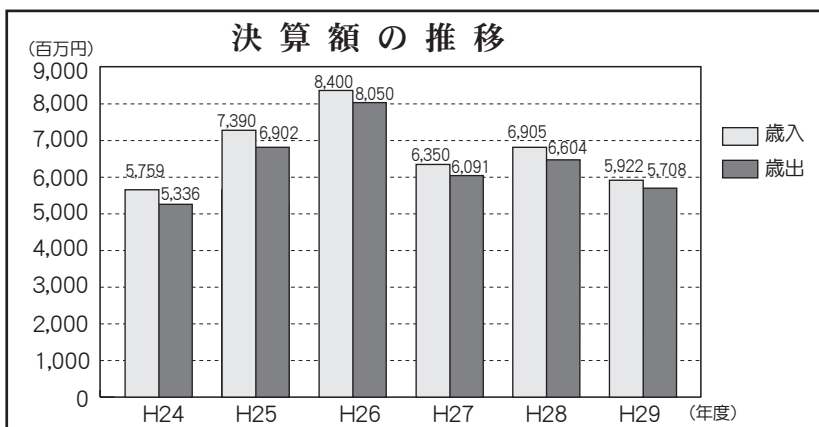
9月定例議会で、平成29年度決算が認定され、前年度に比べ、歳入歳出とも減額の決算となりました。

主な理由としては、保育園建設事業完了に伴う事業費及び補助金等財源の減が挙げられます。

歳入から歳出を引き、次年度への繰越事業の財源を除いた実質収支は1億9,910万円の黒字となりました。



平成29年度の主な出来事  
国道53号智頭トンネル  
土砂流出



## 歳入総額

59億2,159万円

歳入総額は前年度の69億483万円と比べ、9億8,324万円の減となりました。要因は、保育園建設事業完了のほか、特別交付税、社会資本整備総合交付金の減などです。収入の約8割は、国から交付される地方交付税と国・県支出金、町債などの依存財源です。

## 歳出総額

57億763万円

歳出総額は、前年度の66億389万円と比べ、8億9,626万円の減となりました。要因は、保育園建設事業完了のほか、定住促進住宅建設事業、除雪事業の費用減などです。

今後、人口減少、少子高齢化が進むなかで、行政サービスの水準を維持しつつ、事業費の圧縮、効率化がより一層求められます。

## 平成29年度

### 主要事業

- 社会資本整備総合交付金事業 2億652万円
- 地籍調査事業 1億8,082万円
- 公共林道事業 9,006万円
- 地域情報化推進事業 7,444万円
- 那岐地区消防団拠点施設建設事業 5,580万円
- 智頭材出荷促進事業 4,391万円
- 美しい森林づくり基盤整備事業 3,005万円
- 臨時福祉給付金給付事業 2,914万円
- 【地方創生関連事業】
- 智頭町版自伐林家養成事業 1,221万円
- 智頭町版企業人材再生駐屯地 963万円
- 智頭町育みの郷構想実現事業 733万円

ホームページに財政の状況及び詳細な主要事業を掲載します。  
<http://cms.sanin.jp/p/chizu/soumu/zaimu/>